

## ゲストランナー

唐沢剣也氏（SUBARU 陸上競技部所属）

東京パラリンピック男子5,000m 視覚障害のクラス銀メダリスト。群馬県渋川市出身、27歳。10歳 のとき網膜剥離のため失明し、前回のリオデジャネイロパラリンピックで視覚に障害のある選手が活躍する姿を見て、競技を始める。先輩選手のランニングフォームを手で触ったり、足音を聞いてリズムをまねたりするなど視覚以外の感覚を使って技術を習得し、2019 年の世界選手権では男子 5000m 視覚障害のクラスで銅メダルを獲得。2021 年 5 月には同じ種目で世界新記録をマークし、東京パラリンピックでは銀メダリストに輝いた。